

# ソフトボール部

■ 1989年(平成元年)公認

部員数

50名



部長  
Douglass J. Scott  
人間科学学術院  
教授

We are approaching the end of the academic year and it's almost time for our seniors to leave the university and start their lives as full members of society. I'm sure each player has accumulated many important memories and experiences over the past four years. One of the most important things you can take away from your softball career is the friendships that you have developed with your teammates. I hope the friendships that you have created and the lessons that you have learned will stay with you and help you in your future lives. I encourage each of you to join the Softball Team Alumni Association so we can stay in touch and support our future teams together.



男子部門監督  
木村 秀雄

ソフトボール部には「ソフトボールを通じて人間教育を行う」という方針があります。ここであらためてお伝えしておきたいことがあります。1. 周りの人をみんな友と思わない。2. 世界の良いところを見なさい。3. 自分の足で立ちなさい。4. ぶれない心を持ちなさい。これは、私が駐在していたタイ王国のプミポン国王から娘であるシリントン王女に当てた手紙からの抜粋です。仲間を集め、仲間と共に、各々が個性と強みを伸ばし、自ら定めたゴールを目指す。ソフトボール部の活動そのものであり、そこに人間教育があります。「ぶれることなく生きていけば、価値は生まれ、磨かれる。」人生は選択の連続です。迷わず自分を信じて突き進んでください。



主将  
田中 雄輔  
スポーツ科学部  
筑波大付属

幾度も部長同士で対立し、主将としての役割を果たせないと感じたことも多々ありました。試合でも思うような結果を出せず、最後の全日本インカレでは目標としていた全国優勝から一番悪い結果に終わりました。しかし、常に上を目指し続けたソフトボール部でのこの経験は今後の人生において大きな糧になる、何にも変えられないものです。たくさんの指導者の方々の元で私たちは不自由なく部活動をすることが出来ました。指導者の皆様、平素より弊部を支援してくださったOBとOGの皆様、保護者の方々はじめとする応援してくださった皆様に心から感謝申し上げます。今後ともソフトボール部へのご支援、ご声援のほどよろしくお願いたします。



主務  
齋藤 拓哉  
スポーツ科学部  
弘前学院聖愛

本年度は昨年度の全日本インカレ三回戦敗退の悔しさを晴らすべく、1年間優勝、日本一を目指し練習に励みました。しかし、福岡大学に連戦負けを喫し、無念の一回戦敗退となりました。2人の4年生が中心となり、最後の最後にチームがまとまったような気がします。主務としては、裏方としてはではなく、チーム運営の中心となって活動しました。1年間、様々な形でご支援してくださった方々、本当にありがとうございます。私は、次の主将として来年こそは先輩方が成し得なかったインカレ優勝を実現します。今後ともソフトボール部へのご支援、ご声援のほどよろしくお願いたします。



女子部門監督  
長谷川 誠

1965年に同好会として創設、89年に部に公認され、「ソフトボールを通じて人間教育を行う」という方針を継承しながら活動しています。創設者の吉村正名名誉教授が現在も総監督として、女子部・男子部の教育・指導に携わっていただいていることが、我がソフトボール部の最大の特長です。4年生幹部4名は、「1を繋げる」という年間スローガンを掲げ、チーム運営に尽力すると共に、全員が主力としてプレーし競技力向上にも大きく貢献しました。そして何よりも、後輩の模範となる「仲の良さ」を財産として残してくれた立派な代でした。今後は培った「人間としての総合力」を生かし、幸せな人生・輝かしいキャリアを築くことを期待しています。



女子部門主将  
齋藤 遙夏  
スポーツ科学部  
習志野

私たちはこの1年間「1を繋ぐ」というスローガンを掲げ、インカレ優勝に向けて練習に励んできました。私たちの代が始まってからは、やっていることが正しいのか、本当に勝てるのか不安な日々が多くありましたが、先生方、総監督、監督、コーチの方々の指導のもと、必死に努力しました。今年の代は、活気に満ちた面白いチームでした。最後の大会では悔しい結果となりましたが、最後の1年をこのチームでプレーできたことを幸せに思います。OBOGの皆様をはじめ、ご支援、ご声援をいただいた皆様へ心より感謝申し上げます。今後ともソフトボール部へのご支援、ご声援のほどよろしくお願いたします。



女子部門主務  
八矢 美幸  
人間科学部  
創価

卒業にあたって、日頃から多大なるご支援、ご指導を賜りました監督・コーチ、OB・OGの皆様、そして温かいサポートをくださった全ての関係者の皆様に、心より厚く御礼申し上げます。皆様のご協力のおかげで、主務としての重責を全うすることができました。私が担当した経理業務、遠征計画、イベント運営といったチームの基盤を支える役割は、私自身を大きく成長させてくれました。この経験に心から感謝しています。今後も、早稲田大学女子ソフトボール部が、目標である「日本一」を達成し、さらに大きく発展していくことを、心より願っております。引き続き、弊部への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 本年度試合戦績

成績(早稲田勝利:○、引き分け△、敗戦●)

(男子)

◇第57回春季リーグ戦兼文部科学大臣杯  
第60回全日本大学ソフトボール選手権大会東京都予選会  
(4月12日～27日)

第4位

- ▷日本大学(○10-0)
- ▷中央大学(●8-10)
- ▷日本体育大学(●0-14)
- ▷国士舘大学(●2-7)
- ▷慶應義塾大学(○6-4)

◇文部科学大臣杯第60回全日本大学ソフトボール選手権大会  
東京都二次予選会 (5月3日)  
優勝

- ▷東京大学(○8-1)
- ▷慶應義塾大学(○7-2)

◇第71回男子全日本総合選手権大会東京都予選会 (5月18日)  
一回戦敗退

- ▷国士舘大学(●4-5)

◇U23男子ソフトボールアジアカップ (6月2日～5日)  
優勝

- ▷マレーシア(○15-0)
- ▷香港(○21-0)
- ▷タイ(○15-0)
- ▷シンガポール(○9-0)
- ▷インド(○9-0)
- ▷シンガポール(○9-2)

◇第40回東日本大学男子ソフトボール選手権大会  
(7月5日～6日)

第3位

- ▷東海大学(○14-6)
- ▷慶應義塾大学(○7-5)
- ▷国士舘大学(●1-3)

◇第60回全日本大学男子ソフトボール選手権大会 (9月6日)  
初戦敗退

- ▷福岡大学(●7-9)

◇第57回秋季リーグ (9月27日～10月12日)  
第5位

- ▷慶應義塾大学(●2-12)
- ▷中央大学(●9-1)
- ▷日本大学(○8-2)
- ▷日本体育大学(●0-15)
- ▷国士舘大学(○10-3)

◇第56回関東大学ソフトボール選手権大会 (11月1日)  
初戦敗退

- ▷東京理科大学(●7-4)

◇第33回早慶戦 (11月16日)  
優勝

- ▷慶應義塾大学(○4-1)

◇第57回早学戦 (11月23日)  
優勝

- ▷学習院大学(○16-8)

(女子)

◇第57回春季リーグ戦兼文部科学大臣杯  
第60回全日本大学ソフトボール選手権大会東京都予選会  
(4月19日～27日)

- ▷国士舘大学(○5-3)
- ▷日本女子体育大学(●1-3)
- ▷東京学芸大学(○4-1)
- ▷東京女子体育大学(●1-7)
- ▷日本体育大学(●0-4)

◇第77回女子全日本総合選手権大会東京都予選会  
(5月17日～24日)

- ▷日本女子体育大学(○8-2)
- ▷東京女子体育大学(●1-6)

◇第40回東日本女子ソフトボール選手権大会 (7月5日～7日)  
▷清和大学(●7-9)

◇2025年度第60回全日本学生ソフトボール選手権大会  
(8月29日～31日)

- ▷大阪青山大学(●0-3)

◇東京都ソフトボール連盟 第57回秋季リーグ  
(9月21日～27日)

- ▷東京女子体育大学(●1-4)
- ▷日本体育大学(●0-9)

◇東京都ソフトボール連盟 第57回秋季リーグ  
(10月5日～11日)

- ▷日本女子体育大学(○7-6)
- ▷東京富士大学(○4-2)

◇東京学芸大学(○5-1)  
◇2025 第56回関東大学ソフトボール選手権大会  
(11月1日～3日)

- ▷東京国際大学(●1-9)

◇第19回早慶定期戦 (11月16日)  
▷慶應義塾大学(○24-0)

◇第57回早学定期戦 (11月23日)  
▷学習院大学(○14-9)

